

食と農を担う

International Symposium between Austria, Switzerland, and Japan
“Women’s contributions to food culture and family farming”

女性たち



小規模な家族農業は安全な食糧供給の基礎であり、その世代継承にとって、女性の役割は決して小さくありません。昨年末には、「和食；日本人の食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。そして今年、国連食糧農業機構（FAO）が定めた国際家族農業年にあたります。この機に、わが国と同様に家族農業が中心であるスイスとオーストリアの事情に学び、家族農業における女性の経営参画を可能にする道筋について考えてみたいと思います。



2014
国際家族農業年

十文字学園女子大学 国際シンポジウム『食と農を担う女性たち』（コーディネーター：大友由紀子・宮城道子）
◆日時：2014年7月12日（土）13:30~16:30（交流会 16:30~18:00）
◆会場：With You さいたま（埼玉県男女共同参画推進センター）セミナー室2・3
◆交流会参加費：1人2,000円【日英通訳付】

◆プログラム

開会 13:30 (受付開始 13:00)

基調講演

Mbuli Charles Boliko

Food and Agriculture Organization of the United Nations, Liaison Office in Japan
"Family Farming and the Involvement of Women"

テーマと概要

大友由紀子 (十文字学園女子大学)

パネリスト1

Theresia Oedl-Wieser

Federal Institute for Less Favoured and Mountainous Areas, Austria

"Women in Austrian Agriculture with the Focus on Female Farm Managers"

パネリスト2

Ruth Rossier

Agroscope, Institute for Sustainability Sciences, Switzerland

"Farming Women's Contribution to Family Farms in Switzerland: A Time-Budget Survey"

パネリスト3

萩原知美 (有限会社 諏訪野 代表取締役、「ファーム・インさぎ山」会長)
「『食』と『農』の豊かさを次世代に伝える」

パネリスト4

安倍澄子 (日本女子大学)

「日本における女性農業者の『今日』、そして『未来』に向けて」

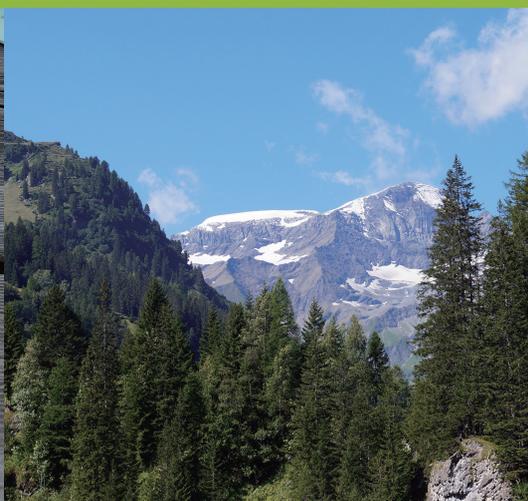
総括討論

司会：宮城道子 (十文字学園女子大学)

◆交流会のご案内 16:30~18:00

さいたま市女性農業者連絡会メンバー手作りの料理を囲んで！

※交流会へのご参加は7月7日(月)までにメール (y-ootomo@jumonji-u.ac.jp) にてご予約ください。



◆会場のご案内

With You さいたま (埼玉県男女共同参画推進センター)

<http://www.withyou-saitama.jp>

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心 2-2
(ホテルプリランテ武蔵野 3・4 階)

Tel: 048-601-3111

アクセス

JR 京浜東北線・高崎線・宇都宮線さいたま新都心駅 (駅直結徒歩 5 分)

JR 埼京線北与野駅 (徒歩 6 分)

◆お問い合わせ

E-Mail: y-ootomo@jumonji-u.ac.jp

<http://www.jumonji-u.ac.jp/sscs/y-ootomo/>

Tel: 048-260-7681 (大友研究室直通)

※このシンポジウムの開催は、十文字学園女子大学プロジェクト研究費によるものである。
また、海外の研究者招聘には、科学研究費助成事業 (基盤研究 (B) 海外) 課題番号 24402031
(研究代表者: 大友由紀子) の助成を受けている。

